

# 五新聞

05.10.No101  
10.行任 楓 職夫  
5.発頁

# 活彩祖谷村

06年3月、独立村作り準備会と毎月例会  
議を続けています。七月、八月には、村の名前  
を出して話しあいました。出た名前例は十個  
以上。九月は台風で中止しましたが、十月は  
五日に開催。  
そこで、速いに名前例が決まりました。  
「活彩(かざい)祖谷村」です。  
いよいよと、様々な活動をする村にしよう  
という思いが込められていきます。  
さて、決断(十一月二日)からは、宣言をはじめ  
として、村作りの基本本にのっとることを話し  
あつて決めていきますといわれています。  
「自分が決めた自分で作る村」どこでも、誰ごと  
村民とわかる。活彩祖谷村は夢かこころ  
村にしたいとおもいます。

## 独立村にむけて



東祖谷中学校「紅蒸籠」が踊る「暴山坊」

## 祖谷自慢

# 暴山坊

私が小ごころをたのみのお盆には、祖谷街道でも  
阿波踊りがみらふました。いつまで続くとい  
のか知りません。  
但祖谷(自身祭り)には、踊りの好きの人達が希  
しく阿波踊りを踊るといいます。  
砂防堤という名前も聞きなれた。池田町で  
踊る(参加)が、たまたまにも聞きました。  
しかし、ここに阿波踊りの「連」が出来ました。  
今年の八月、夏祭り「デビー」その名の「暴山  
人坊」という連です。  
上原さん(釣竿)が原宿をとりわけ、西祖谷、山城  
町にまでかけて、作りあげました。



## ありたい

元気の若者達、子供たちも参加し、夏祭りによ  
けては、週三回の練習をし、自身市に「デビー」  
その名の、池田町へも参加。香川県へも踊りに行  
き、早くもその名を残していきます。  
夏は終つてもまだ練習を続けているという。  
若者ももう彼らも、何時が明向きになつて、え  
に練習。来年の八月が待ちどわしい「暴山坊」  
新しい祖谷自慢です。

もう一つの祖谷自慢は、新居屋に住んでいる。  
印口明さんという「ローラースケート」の二人です。  
九月末から十月にかけて、東祖谷では民俗資料館  
館と徳島市阿波館でラガを聞かれています。今年  
「川が流れる」です。フタツツの中にも、生命  
につけての表現が力強く、見る物を圧倒しました。  
こんなにはばかしの才能の持主が、東祖谷に生まれる  
んではないかと、心に新たに、ありがたうの言葉を

東祖谷民俗資料館に2  
「川が流れる」

踊りたい  
おもいます。  
二人とも才  
も素晴らしい  
けで、祖谷の  
皆さんとも  
流が流れる、  
の人間性も  
はこいとい  
といます。